

地域医療の将来について考える

～奥越の地域医療を守るには～

現在奥越地域では、市外の病院に入院している人の割合が高いため、奥越の地域医療（二次医療圏）が見直しの対象となっており、将来の生活に大きな影響が出るかもしれません。地域医療推進シンポジウム参加者のアンケート結果などを踏まえ、地域医療を守るために私たちに何ができるのかを簡単にまとめてみました。

※二次医療圏の見直し
奥越地域を福井・坂井地域と1つの二次医療圏に統合する考え。
これにより、中央の福井市にベッド数・医師が集中し、将来、奥越地域が医療過疎に陥る可能性が高くなる。

地域医療シンポジウム アンケート集計



地域医療推進シンポジウムの様子

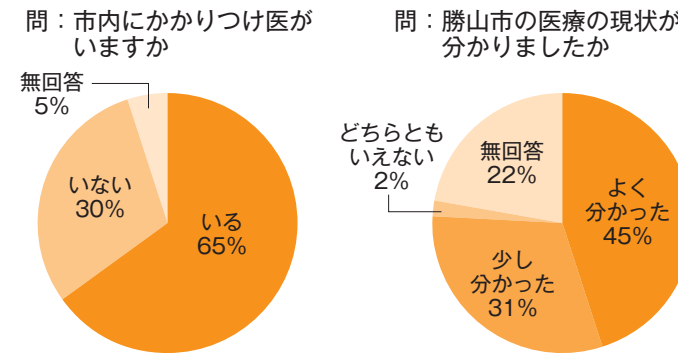
●地域医療推進シンポジウムから

7月21日に奥越地域地場産業振興センターで開催された「地域医療推進シンポジウム」において、参加者アンケートを行いました。
シンポジウムには、10代から70代までの幅広い年齢層から約300人の参加があり、そのうち167の方がアンケートに回答されました（回答者の70%が女性）。なお、回答者の50%が医療・福祉関係、区長連合会、高齢者連合会関係者等で、残り50%が一般市民の方でした。

●アンケート結果（抜粋）

①勝山市の医療の現状について

奥越二次医療圏が見直しの対象になっていることなど、勝山の医療の現状について「分かった」方は76%でした。また、「市内にかかりつけ医がいる」方は65%であり、「いらない」方は30%でした。地域医療を守るためにも、市内にかかりつけ医を持つことをPRしていく必要があることが分かりました。



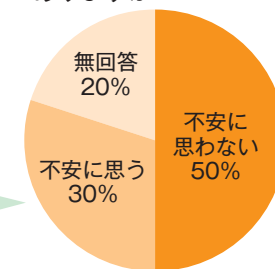
問：市内にかかりつけ医がいますか

問：勝山市の医療の現状が分かりましたか

②医療体制への不安

「医療を受ける際に不安に思う」方は30%いました。不安に思う内容は、医療技術や病院の存続・弱体化についてなどでした。不安解消のためにも、もっと勝山市の医療の現状について、市民にPRしていくことが大切だと分かりました。

問：現在、医療を受ける際に不安に思っていることはありますか



＜不安に思うこと＞

- 医療技術(病院・医師・器具含む)について12人
- 病院存続、弱体化について 8人
- 高齢化、通院について 5人
- 時間外、緊急時の対応について 5人
- 医師(専門医)不足について 5人
- 医療・医師への信用・信頼について 2人
- 在宅医療体制について 2人
- 勝山で分娩ができないこと 1人

③医療体制の確保のためにこの質問については、かかりつけ医を持つこと、福井社会保険病院の充実、在宅での診察体制強化などの回答が多くなっています。

●アンケート結果から

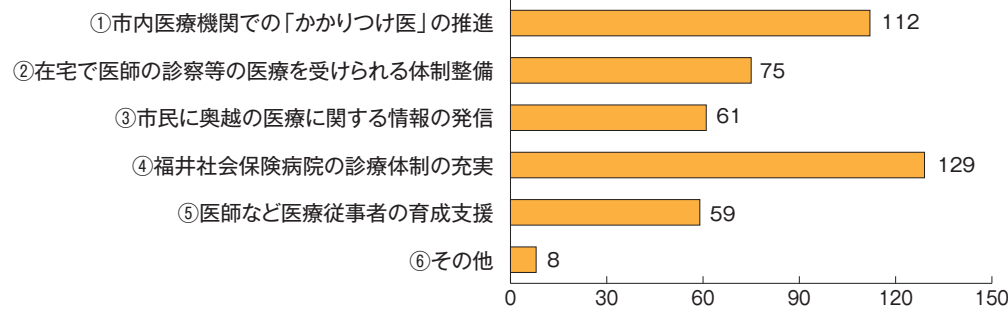
アンケートを通じて、まだまだ地域医療の現状について理解されていないことが分かりました。奥越二次医療圏を守るためには、市民の皆さんが次のような行動をとることが必要です。

- ①病気になるたらずに市外の医療機関を受診するのではなく、市内にかかりつけ医を受診しましょう。
- ②入院などの医療については、奥越地域の拠点病院である福井社会保険病院を利用しましょう。

市民一人ひとりが取り組むことによって、入院患者の流出率を下げ、奥越二次医療圏の存続につながります。この取り組みが、今後も福井社会保険病院を奥越地域の拠点病院として存続させ、奥越の地域医療を守ることになるのです。



現在の医療体制確保のために必要なこと（複数回答）



勝山市地域医療推進協議会が開催されました

◎地域医療を考える

8月30日に福祉健康センター「すこやか」で、第2回勝山市地域医療推進協議会が開催され、勝山市医師会・歯科医師会、福井社会保険病院、勝山市社会福祉協議会、区長会、校長会、食生活改善推進員協議会、保健推進員協議会、商工会議所、奥越健康福祉センターの各代表者、および勝山市担当者が参加しました。会では、地域医療推進シンポジウムのアンケート結果の説明があり、次に奥越の入院患者の流出状況や、医師数、ベッド数の現状について説明がありました。



地域医療推進協議会の様子

◎勝山市の今後の方針

参加者からは、それぞれの立場から地域医療を守るための意見が述べられました。勝山市は、本年度中に策定される第6次福井県保健医療計画で、奥越の二次医療圏を確保するために、各方面に働きかけていきます。さらに、次期計画には、県下4つの医療圏で最も悪い医療サービス体制の改善策を盛り込むよう要望していくとともに、患者の流出率を現在の40%超から20%以下にする取り組みが求められます。具体的には、公民館等での話し合いを実施することや広報紙等を通じて、市民に周知を図っていくことを確認しました。



アドバイザー
福井県立大学 寺島喜代子 教授

お知らせ

福井社会保険病院 診療体制が充実

奥越の地域医療（二次医療圏）を支える拠点病院である福井社会保険病院では、産婦人科および眼科において、外来の診療体制の充実が次のとおり図られましたので、ぜひ受診してください。

産婦人科

- 産婦人科医による診察が、週2日から3日に
- 火・水・金の10時から診察
- 9月1日から実施中

眼科

- 眼科医による診察が、週1日から3日に
- 月・水・金の午前中診察
- 8月1日から実施中
- ※月1回手術も実施